

2016年度【後期】立命館大学サービラーニングセンター 学生コーディネーター募集要項

2016年9月 立命館大学サービラーニングセンター

学生コーディネーターとは？

学生コーディネーターは、立命館大学サービラーニングセンターの一員として、責任と主体性を持って、ボランティアや地域社会に貢献する活動を促進・支援するため学生と地域をつなぐ活動を行います。学生コーディネーターは同じ学生の視点から、ボランティアや地域活動についての啓発・促進・情報発信を行います。具体的には、活動に関する情報を発信するため、ポスターやチラシ等の掲示・配架やボランティア活動に関する相談を行っています。長期休暇前には学内外の団体と直接相談をすることができるボランティアガイダンスを行ったり、ボランティア体験プログラムを実施したりするなど、活動のきっかけとなる課外プログラムを企画・展開しています。

学生コーディネーターの活動で、こんなことが学べます！

- ◆学内外から集まった様々なボランティア情報(国際、環境、福祉、まちづくり、教育(学校教育・社会教育)など)に、いち早く触れることができます。
- ◆地域に関心を向け、NPO(非営利組織)やボランティア団体へ学生をつなぐ活動を通して、地域の魅力を発見することができます。
- ◆さまざまな分野で活動するスタッフ、多世代の人たちとの出会いは、自身の視野の広がりやコミュニケーション能力向上につながります。



学生コーディネーターの声



私が、学生コーディネーターになったきっかけは、二回生の夏休みに参加した東北のボランティアでした。そこで出会った学生コーディネーターの方が、とてもキラキラしていました。他にも学生コーディネーターになってから出会う人は、地域の方や他大学の学生など、普段出会ったことがない人ばかりで、その一人一人が自分の行なっていることに誇りを持っている人でした。私も、影響を受けて、身近な地域や子ども分野のボランティアなど色々な活動し、活動を広めたいと思っています。楽しみながら、学びも得る事ができる学生コーディネーターになって、私たちと一緒に活動してみませんか？
(文学部3年生 飯塚佐喜子さん)



地域に出ることの醍醐味は何と言っても「出会い」だと私は思います。イベントの企画段階から地域の方や受け入れ団体の方、そして当日は参加者など多くの人と関わり、その中で違う価値観に触れ、自分を見つめ直す機会となりました。学生コーディネーターの活動では、普段なかなか出会うことがない人との出会いがあり、多様な考えに触れるチャンスがたくさんあります。そのチャンスを自分たちが得るだけでなく、発信し、可能性の輪を大学というフィールドを越えて広げていくことができることが学生コーディネーターの魅力だと、私は活動の中で感じています。4年間の大学生活で新たな一歩を踏み出したい人、是非私たちと一緒に可能性の輪を広げませんか？
(経済学部2年生 秋吉大地さん)



私は「いば Live」という企画を通して、地域の方の経験や思いを学生に伝えることにやりがいを感じています。企画当日まで、学生が「面白い！」と思うことと地域の方が「伝えたい！」と思うことの差を埋めるために、できるだけ多くの話し合いを重ね、思いを共有していきます。両者の思いを重ねるこの過程はとても大変ですが、たくさんの思いの詰まったいば Live ができることに最大の魅力を感じています。「いば Live」で生まれた新たな出会いや会話が、学生のひらめきや活力につながる瞬間は何よりも嬉しく、「やって良かった!」、「何度でもいば Live を作り続けたい」と感じます。ぜひ私達と一緒に活動してみませんか？
(経営学部2年生 徳元 歩美さん)

学生コーディネーターが企画する取り組み（予定）

◆いば Live (OIC)

キャンパス内の施設で、地域で活動する個人の方や団体をゲストに迎えて、ワークショップ形式でわいわい楽しく学びと交流を深めます。普段なかなか知ることが出来ない現場の様子を聞ける貴重なチャンスであり、地域活動やボランティア活動が身近に感じられるような新しいプログラムです。



◆ボランティアガイダンス

国際協力、高齢者福祉、子ども・青少年、障害児・者など、さまざまな分野でボランティアを受け入れている団体を招き、活動紹介をしていただき、学生が一歩を踏み出すきっかけとなるガイダンスを企画・運営します。学生にとって、地域で活動しているボランティア団体・NPO・NGOの方々と直接話し、実際の活動を知るチャンスとなります。

◆ボランティア体験プログラム

ボランティアに興味はあるけど、「参加するきっかけがない」、「一歩を踏み出せない」そんな学生を対象に、実際にボランティアを体験するプログラムです。様々な分野の団体を紹介し、参加者と学生コーディネーターがともに現場で活動します。



◆ワークキャンプ

高齢化、過疎化の進む地域で学生が里山再生や雪かきの活動に取り組みます。活動内容や食事、交流時間などは地域の方と職員、学生コーディネーターが相談をしながら決めていきます。

◆窓口コーディネーション

サービスラーニングセンターに届く情報をもとに、ボランティア活動を探している学生へ活動を紹介します。学生の得意なことや好きなこと、関心のある活動などを聞き出しながら、それぞれにぴったりの活動をコーディネートします。

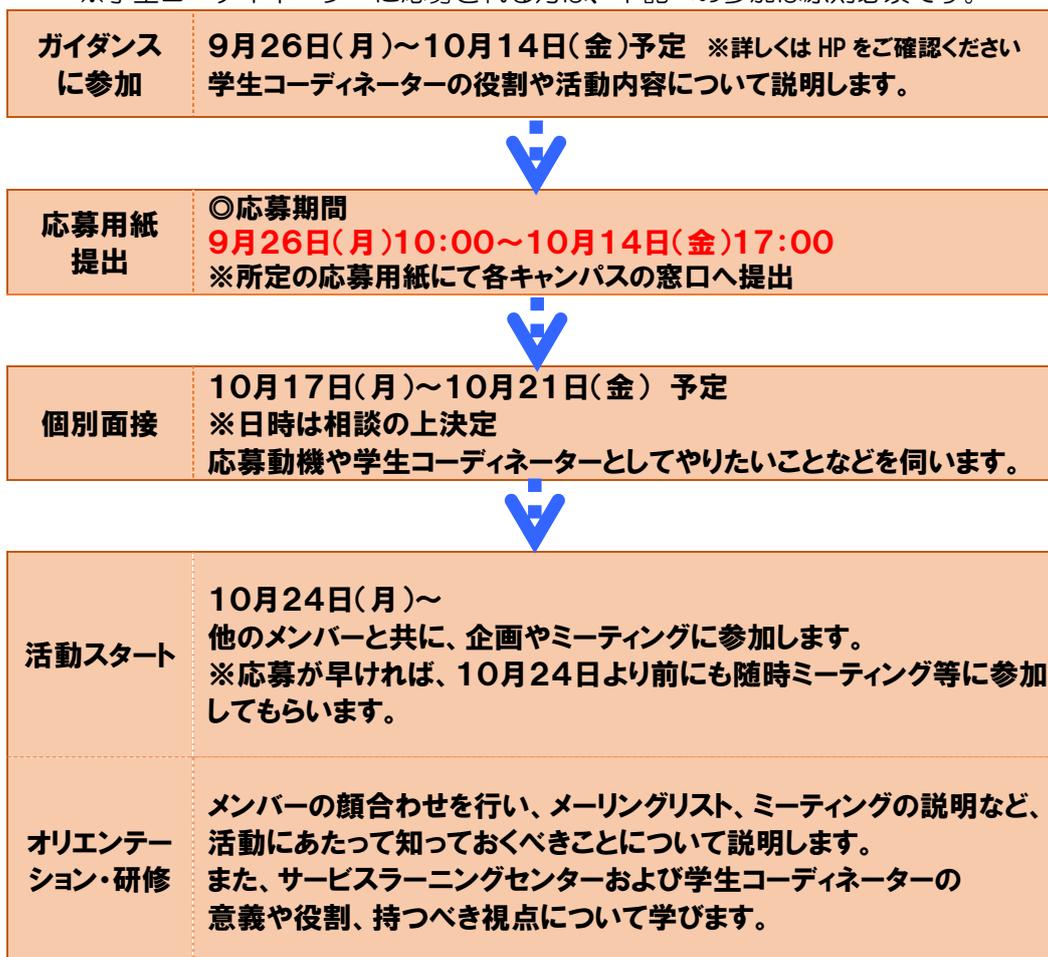


◆学内ボランティア団体合同企画

立命館大学のボランティア団体が一同に集まり、各団体の活動内容の説明や企画を行うイベントです。学生コーディネーターは学内のボランティア団体とつながり、中心となって合同企画を運営します。学生にとって直接団体のメンバーと会って話を聞くことができる企画です。

【活動開始までの流れ】

※学生コーディネーターに応募される方は、下記への参加は原則必須です。



【よくある質問】

Q1. この活動は**ボランティアサークル**ですか？

A1.「学生コーディネーター」は、ボランティアサークルではなく、サービスラーニングセンターに所属して活動する「学生スタッフ」です。学生コーディネーターは、実際にボランティア活動を行うのではなく、ボランティア活動への理解を促進させ、活動に巻き込んでいくための取り組みを行っています。

Q2. **活動は具体的に**はどのようなものがあるのでしょうか？

A2.学生コーディネーターは、サービスラーニングセンターに寄せられた情報(ちらしやポスター)の掲示や整理、また来室者へのボランティア情報の提供に取り組んでいます。また、ボランティア活動の啓発・推進に向けたイベントの企画や地域との調整などに向けたミーティングを行っています。

Q3. 応募用紙の「**ボランティア活動歴**」には、何を書けばよいのでしょうか？

A3.「ボランティア活動歴」には、今までに取り組んできたボランティア、地域活動を具体的に記入してください。期間、分野は問いません。

Q4. **研修**はどのようなことをするのでしょうか？

A4.学生コーディネーターは、「ボランティアコーディネーター」として、学生の視点から学生の活動を支援します。そのため、ボランティアに関する正しい理解や、その支援のための方法等に関する講義、ワークショップを織り込んだ研修を受講していただきます。また、活動をふりかえる機会としての研修も随時行っています。

Q5. 私は、**地域でのボランティア活動に参加しています**。**活動とコーディネーターの両立**は可能でしょうか？

A5.学生コーディネーターは、ボランティア活動の啓発・推進を担う役割を期待されていることから、それぞれがボランティア活動に参加していることが望まれます。したがって、ボランティア活動と学生コーディネーターとしての活動を両立させることは、可能であるだけでなく、むしろ積極的に学内外でボランティアサークル、NPO、NGO等で活動し、その経験を発信することが期待されます。

【応募要項】

【活動内容】

- ◇ 学生への地域活動やボランティア活動の日常的なコーディネート
 - ◇ 学内外のボランティアや地域の情報収集
 - ◇ ボランティア活動の啓発・推進のためのイベントの企画・運営
 - ◇ 学内ボランティア系団体の活動サポート
 - ◇ 災害支援活動への参加、コーディネート
 - ◇ 地域団体の開拓や課外プログラムの開発
 - ◇ その他サービスラーニングセンター事業の補助
- ※ボランティア活動を広め、支えていくためのアイデア、企画力、実行力に期待します。

【活動条件】

- ◇ 活動期間(研修を含む):2016年10月24日(月)~2017年3月31日(金)
- ◇ 任命式および学生コーディネーターとしての合宿研修に参加していただきます。これらは原則参加とします。
- ◇ 初年度以降、登録は自動的に継続されます。(※1年ごとに継続の意思確認を行います。)
- ◇ 学生コーディネーターの活動は原則としてボランティア(無償)です。
- ◇ 事業の引率等を除き、交通費は支給しません。

【募集人数】

- ◇ 5~10人程度(キャンパスごとに募集)

【応募資格】

- ◇ 本学の学部学生、または大学院生
- ◇ 学生コーディネーターとして、ミーティング・研修に参加できる方

<こんな方を求めています！>

- ◇ 明朗活発で、人と話すのが好きな方
- ◇ ボランティアや地域活動の啓発・推進に意欲のある方
(現在ないしは過去にボランティア活動に取り組んだ経験のある方)
- ◇ サービスラーニングセンターの趣旨および学生コーディネーターの活動に賛同し、積極的に参画できる方
- ◇ 地域や社会問題に関心を寄せ、それに対し積極的に取り組みたいと思っている方
- ◇ 災害支援活動に携わりたいと思っている方
- ◇ ワード、エクセル等の基本的なパソコン操作能力を有する方

<上記をふまえた上で、さらにこんな特技をお持ちの方大歓迎！>

- ・広報物をデザインすることが得意な方
- ・イラストや文章を作成することが好きな方
- ・パソコンなどの機器に詳しい方

【応募書類】

「応募用紙」に必要事項を黒のボールペンで記入し、サービスラーニングセンターの窓口に提出してください。
※Eメール、FAX、郵送による応募は一切受け付けておりません。

【応募期間】

- ◇ 後期募集…2016年9月26日(月)10:00~10月14日(金)17:00まで

【応募書類提出場所】

各キャンパスのサービスラーニングセンター窓口まで提出ください
衣笠:(有心館1階) BKC:(アドセナリオ1階) OIC:(A棟1階AN事務室)

【選考と採否通知】

- ◇ 応募用紙の提出後、日程調整を行い、面接の日程を決定します。
- ◇ 採否の通知は、10月中旬予定しています。

【問い合わせ先】立命館大学サービスラーニングセンター(E-mail:ritsvc@st.ritsumei.ac.jp(キャンパス共通))

[衣笠]〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 有心館1階
TEL:075-465-1952 FAX:075-465-1982

[BKC]〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 アドセナリオ1階
TEL:077-561-5910 FAX:077-561-5912

[OIC] 〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150 A棟1階AN事務室
TEL:072-665-2050 FAX:072-665-2059